

研究機関の方へ

2つの制度で

1

国際交流プログラム

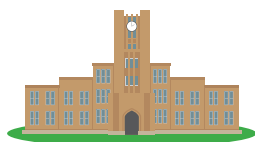
2

国際研究協力
ジャバントラスト事業

海外研究者 招へいを支援します

海外研究者招へい
海外研究者招へい

あなたの所属機関は？



大学・公的研究機関

民間企業



研究分野は？

ICT分野

ICT分野以外

他の制度をご利用ください

国際交流プログラム

で公募を行います

研究分野は？

通信・放送基盤技術

鉱工業基盤技術

国際研究協力
ジャバントラスト事業

で公募を行います

海外研究者招へい事業
(STeP JAPAN)

で公募を行います

国際交流プログラムで実施する場合があります

詳細は該当する各機構のホームページ・募集要項でご確認ください

海外研究者招へい 令和9年度公募

海外の研究者を受け入れて情報通信分野の研究及び技術開発又はこれに関連する学術的な啓発活動を行うことを希望する国内の機関を支援するもので、渡航費や滞在費等の招へいに必要な経費を支給します。

公募期間

令和8年7月16日(木)～10月8日(木)

支援対象

令和9年度に実施される招へい

 国立研究開発法人
情報通信研究機構

「海外研究者招へい」に関する公募のご案内(NICT)

① 応募資格

応募者は、情報通信分野の研究及び技術開発又は学術的な活動を行うために海外研究者の受入れを希望する研究機関等とします。研究機関等とは、民間企業の研究開発部署、大学、公益法人等の研究機関を指します（NICTは除く）。

② 招へい研究者の要件

博士の学位取得者又は同等以上の能力を有する情報通信分野の研究者とします。外国に5年以上在住の日本国籍を有する者であって、当該国の学界で活躍している研究者も含まれます。実績が認められれば博士課程在籍中の方も可能です。

③ 招へい期間

招へい期間は、原則として12か月以内で、令和9年4月1日（木）～令和10年3月31日（金）の期間内に実施される招へいが対象となります。

④ 支給される経費

渡航費、滞在費、出張旅費等が支給されます。滞在費は、招へい研究者のクラスによって異なり、日額9,300円から40,000円が支給されます。

⑤ 採択予定人数

10名程度の予定です。（年度予算又は案件の費用により変更の可能性があります。）

⑥ 応募受付期間

令和8年7月16日（木）～10月8日（木）午後5時（必着）

⑦ 応募方法

応募者は、「募集要項」に添付の様式による受入提案書を作成し、受付期間内に提出してください。「募集要項」には、海外招へい研究者及び受入機関に行っていただくことや海外招へい研究者に支給する経費等が詳細に記述されていますので、応募に際しては御精読ください。

応募に必要な書類は、<https://int-prog.nict.go.jp/> からダウンロードすることができます。

⑧ 留意事項

このプログラムの実施は令和9年度予算の成立が前提となります。



海外研究者招へいの仕組み



お問い合わせ先

国際交流プログラム・国際研究協力ジャパントラスト（通信・放送基盤技術）



国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）

デプロイメント推進部門 事業・技術研究振興室 国際交流プログラム担当

E-mail: int_prog@ml.nict.go.jp

お問い合わせ先

海外研究者招へい事業（STeP JAPAN）



国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

スタートアップ支援部 STeP JAPAN担当

https://www.nedo.go.jp/activities/CA_00100.html

E-mail: STeP_JAPAN@ml.nedo.go.jp

